

時間割コード	G2B5E101	開講年度	2026				
授業題目	地学の世界【EA】					担当教員	吉田 孝紀
英文授業名	Earth Science Literacy						齋藤 武士・山田 桂・三澤 透
単位数	2	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	ShinXiaコース希望者が優先
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	地球科学のごく基本的な概念について理解し、それを説明できるようになること。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、ShinXiaコース(ShinXia)						
(4)授業の概要	まず地球全体における地学現象の概説を行い、プレートテクトニクスや地震、火山について学習する。次に大気と海洋循環、気象災害について学ぶ。更に、地学現象による証拠に基づいて、地球の歴史を学び、過去に生じた生物進化や環境変動について理解する。その後、惑星や恒星、銀河などの宇宙について学ぶことで、地球全体から宇宙までを対象とした地学現象の基礎を学ぶ。最後に自然の恵みを理解し、将来に向けて自然との共生の考え方を学ぶ。						
(5)授業のキーワード	地球 地震 火山 大気 太陽放射 海洋循環 気象 地球史 生命の進化 惑星 恒星 銀河						
(6)授業計画	第1回 地球の概観 第2回 地球のダイナミクス 第3回 地震と火山 第4回 地震・火山災害と防災 第5回 大気の構造 第6回 太陽放射と大気の運動 第7回 大気と海洋の循環 第8回 日本の気象と災害 第9回 地球史の読み方 第10回 地球と生命の進化 第11回 長野県の地学 第12回 惑星の世界 第13回 恒星の世界 第14回 銀河の世界 第15回 自然との共生 ※授業アンケートを実施する						
(7)成績評価の方法	全 15 回の各回で実施する小テストの合計点で評価する。						
(8)成績評価の基準	全体の理解度が6割以上7割未満の場合；達成目標の水準にある 全体の理解度が7割以上8割未満の場合；やや上にある 全体の理解度が8割以上9割未満の場合；かなり上にある 全体の理解度が9割以上の場合；卓越している						
(9)事前事後学習の内容	・事前学習：講義動画で表示されるスライドや補足資料（いずれもShinXia-LMS上で提供）の内容を一通り確認する。 ・事後学習：演習課題に取り組み、必要に応じて講義動画を再視聴するなどにより、学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。 ※この授業は 90 時間の学習を必要とする内容である。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となる。						
(10)履修上の注意	各回の講義動画を着実に視聴して、小テストを受けること。「後でまとめて見る」ことは困難である。また、講義動画中の口頭での解説を聞き逃さないこと。必要に応じてスライドを印刷し、解説をよく聴いてメモを取り、理解を確かめながら授業に臨むこと。分からないところは授業後に質問すること。						
(11)質問,相談への対応	チャットによる。						

(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とする。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	該当しない。
【教科書】	特になし。
【参考書】	特になし。